

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

笑顔のあふれるまち都島へ

大切に大好きな私たちのまち都島のために皆様の声をかたちにします



元都島区長

荒木 はじめ

現自由民主党 大阪府連都島支部 市政対策委員長

推進 市民目線の 市政改革の

大阪府役所に奉職39年間にわたり、常に市民目線で市政をこなして来た、荒木はじめさんに今思っておられる熱い想いを語っていただきました。

元都島区長の『荒木 はじめ』です。

この都島に30年余り住みつけ、都島の発展をつぶさに見てまいりました。また、大阪府職員として、地域のさまざまな課題も認識しております。自分にとって大切に大好きなまち都島を笑顔であふれるまちにするために、新たに政治の世界から、地域のためにさまざまな課題に取り組んでまいりたいと、政治を志し、大阪府を退職いたしました。現在の大阪府は、大都市制度の問題や市政運営にさまざまな課題がございます。これらの問題点を解決するために、長年の行政経験を活かし、この課題を解決してまいります。長年住み慣れた、わたくしの地元、都島が笑顔であふれるまちになるように、大切に大好きな私たちのまち都島のために、全力で取り組んでまいります。

▶ 荒木はじめさんのプロフィール	氏名	荒木 肇(はじめ)	生年月日	昭和29年11月9日
	住所	大阪府都島区友測町	最終学歴	大阪府立大学
	職歴	昭和50年4月 大阪府職員 環境保健局・市長室 等の勤務を経て 平成24年4月 都島区長(第24代) 等を勤めた後 平成26年9月 大阪府を退職		
	趣味	音楽鑑賞(大阪フィルのファン) 読書(城山三郎・宮部みゆき)		

荒木はじめ 後援会事務所 〒534-0021 大阪府都島区都島本通3丁目27番9号
ミカビル1階
TEL 06-6978-4056 FAX 06-6978-4057
ホームページ URL <http://araki-hajime.net/>

大切に大好きな都島のために、 全力で取り組みます

大阪市・
都島区の
ために
ガンバッテや!!



船場太郎
大阪市長議員と

○ふれあいのまち都島へ 高齢者も子どもも障がい者も誰もが 笑顔で暮らせるまち

高齢者が安心して暮らせるよう、予防医療や安否確認体制の充実と、認知症施策に取り組みます。
若い世帯が安心して出産・育児ができるよう、各種助成制度や保育施設を拡充します。
待機児童対策だけでなく、良質な保育環境を確保します。
障がいがあっても暮らしやすい環境を整えバリアフリー化や施策の充実を促進します。

○安心・安全なまち都島へ 誰もが安心して暮らせるまち

防災・防犯体制の強化に区民とともに取り組みます。
あらゆる危機事態から区民を守るための危機管理機能の強化を図ります。

○女性が輝くまち都島へ 女性が輝き笑顔で暮らせるまち都島

女性が様々な分野で力が発揮できる社会を作ります。
女性が働きやすい環境と子育てできる体制を整備します。

○もうかるまち都島へ 地元企業の振興策

中小企業支援のための各種制度設計、補助制度に取り組みます。
大阪のものづくり企業の実力をアピールします。

○絆の強いまち都島へ 地域の自主的なコミュニティを大切に するまち

地域の自主的な活動を支援します。
地域コミュニティが育む取り組みを支援し、地域コミュニティを守ります。

○元気なまち都島へ 都島の持つ特性を活かしたまちづくり

都島を食・住・遊のバランスがとれたまちにします。
地域住民や鉄道会社とともに、京橋の交通アクセスを活用したまちづくりに取り組みます。
様々なイベントを活用し、大川の景観とふれあいの水辺を活かしたまちづくりを進めます。大阪の歴史・文化・伝統を守り、都島の未来を担う子どもたちへ継承します。

○教育再生に努めます 大阪の教育の再生を推し進めます

中学校給食の課題が解決できるまで、弁当・給食の選択性を復活します。
公募校長制度を見直します。
学力・体力向上のため、個人に応じた指導の充実と自主学習を支援します。

荒木はじめさんの**熱い想い**

大阪市を解体するだけの『大阪市廃止・分割構想』には反対です。

松井知事・橋下市長は都構想にすれば、二重行政の無駄が解消され、毎年4000億円の財源を生み出すことができ、そのお金を大阪の成長に使うことができると公言していました。ところが法定協議会の議論の過程で、その府市再編効果額はわずか1億円程度であることが判明。しかも、大阪市を分割することに伴う行政の**コストが680億円もかかり**、住民の大きな負担となることが明らかとなりました。さらに、政令市から一般市以下(特別区)に大幅に格下げされることで特別区住民への行政サービスのレベルは今より確実に低下します。当初、周辺市を巻き込んで大阪の成長をめざしたはずの都構想は、**大阪市をただ解体分割するだけのプラン**になってしまったのです。